

「好評記事のプレゼント」企画 3・4・9・10面

The SEIKYO セイキョウ GIFT

戦後80年 特別企画



感想はこちらから



平和運動家サロー節子氏

現在、「相手を擁護できる強大な核兵器を持つこと」で、他国に攻撃を思いつくこと

核兵器のボタンを押し、再び現実になり、十数万人の死者や瀕死の状態にある人々を想像し、核抑止論を論じていることは、道徳的に人間として私にはできません

あなたも子どもも孫も生き続けられる社会を



決定者が、戦時、100%論理的に物事を考え、決断できるのかという問題です

私たちが命を賭して世界に被弾体験を伝えたのは、あなたたちの将来のためです

識者が語る戦後80年

歴史小説家 安部 龍太郎氏



戦後80年の今、多様な視点から平和の潮流を起こさない。その思いに聖教新聞では、さまざまな識者のメッセージを掲載しました

けれども、平和の信念を貫いた一方で、石原のように極端な考えの人々もいたのです

作家 佐藤 優氏



平和と共生の姿勢、排外主義的な主張が強調される昨今の風潮に、私たちはどう向き合っていくべきでしょうか

佐藤 初代会長の教訓 常任理事の田中哲平先生に話を聞いた

座談と対話こそ平和への直道

対談の中で私は、日本がアジア・太平洋戦争へ破滅の道を進んだ要因を、端的に四つ挙げています



佐藤氏と佐藤氏が対談した『対決 日本史』第6巻

200回目の「広島学講座」 国連大学学長 チリツィ・マルワラ氏



第200回「平和のための広島学講座」が8月6日、国連大学のチリツィ・マルワラ学長(国連事務次長)を講師に迎え、広島聖地平和記念会館で行われました

広島は 記憶・勇気・希望の街



広島は単に戦争がなかったことではなく、正義、思いやり、集団的決意が存在することで、この共通の信念のもと、創価学会は長年にわたり国連と連携してこれら

平和とは単に戦争がないことではなく、正義、思いやり、集団的決意が存在することで、この共通の信念のもと、創価学会は長年にわたり国連と連携してこれら

1999年に自民党との連立に踏み切り 政権与党入りしてから四半世紀。 公明党が日本の中道政治を守っている。

創価学会と 公明党を とことん解明!

道をつくる人がいる。道をごさす人がいる。 道を守り続ける人がいる。道から外れる人がいる。

私は、道を開く人でありたい。私は、道を進み通す人でありたい。

どこまでもどこまでも歩みぬき、走り抜いて、もしや途上に倒れるとも、 荒野の上になろうとも、わが道に続く若人を信ずるゆえに、私は悔いはない。

(池田大佐氏の言葉より)

検証 令和の 創価学会

●日本人が知ろうとしない創価学会と公明党 ●自公連立の歩みと評価 ●池田大佐というカリスマを客観的に評価する ●公明党と創価学会の対談年表 ●プロ野球、箱根駅伝などスポーツ界、芸能界の創価パワー ●ドイツの「キリスト教民主同盟」

発売即 重版!

著 八幡和郎 定価1,430円(税込) B6判/256ページ

愛読者サービスセンター TEL.03-5261-3555 https://www.shogakukan.co.jp

nepia 鼻セレブ

潤いつづく濃厚保湿ティッシュ トリプル保湿成分/植物由来スクワラン

OJI